

CONTENTS	No.67
議会レポート	2P
会派通信	3-4P
一般質問	5-12P
議案の審議結果	12-13P
議会をPick-Up!	14P

いなか

(写真：松代高校写真部)

常任委員会は、所管事項に関する調査を行い、議案等を審査するために設置されています。
十日町市議会には、総務文教・産業建設・厚生 の 3 つの常任委員会があります。

総務文教常任委員会



あることから教室が不足しており、ゆとりのある教室の増設や整備が喫緊の課題であると認識しました。

12月2日に行った管内視察について報告します。

飛渡第一小学校は、全校児童8人の小規模校ですが、豊かな自然や温かい地域の方に囲まれ、体験的な活動を重視された教育が行われています。背中合わせで授業が行われる複式学級ですが、授業や学び方など全職員や地域の方の協力を得て大きな学校がまねできない教育が行われています。

ふれあいの丘支援学校では、教職員の温かい指導の下で児童生徒が障がい克服・改善するための学びに感動しました。児童生徒数が増加傾向に

総合体育館では、新型コロナウイルス感染症拡大の防止策や市内の体育施設などの実情を伺いました。

職員の方々がウイルス感染症予防のため施設や器具備品に至る全ての消毒、換気対策など万全に取り組まれており、利用者が激減する中での利用料収入減にも配慮する対策が必要と受け止めました。



複式学級の授業を視察

産業建設常任委員会



8月17日、産業建設常任委員会では管内視察を行いました。

コロナ禍の中で、行政の施策により現場にどのような効果があるのか、また現場の不安などはないか説明を受けました。

株式会社シルクワーク

は、前年割れの状況でしたが、新規顧客からの売り上げがあり、不安の中でもカバーしてくれています。

十日町商工会議所は、公的援助の申し込み受け付けや経営相談などにより地域産業の支援を行っていました。十日町市観光協会では、観光産業の落ち込みがひどく、

一刻も早い収束が期待され、業界は次の施策を待っている状況とのことでした。一般廃棄物最終処分場では、面積2・4ヘクタールの大規模な基礎工事が行われていました。松之山温泉バイナリー発電所建設現場も確認しました。本号が発行される頃には発電が開始されていると思いますが、4月には世田谷区に売電される予定です。清津峡溪谷トンネルは、入場者数が絶好調であります。駐車場の手狭さも相まって、防犯・安全体制の構築と、さらなる発展へ期待がかかります。



一般廃棄物最終処分場視察

厚生常任委員会



7月31日に管内視察を行いました。

① 県立十日町病院

9月の業務開始を目指して、急ピッチで作業している病院内の説明をしてくださったのは、院長の吉嶺先生です。病棟は各階ごとに色分けされ、テレビや映画に登場するような、立派な手術室も完備。最上階の食堂からの市街地の眺望は、素晴らしいものです。屋上にヘリポートを希望したいものです。

② 県立十日町看護専門学校

あいさつに立った校長の塚田先生も大変喜ばし

そうに話をしてくださいました。特に、皆一同で聴いた新しい校歌の歌詞には感銘を受けました。

③ 医療福祉総合センター
施設の大部分を看護専門学校が使用しています。まだ新しい匂いがし、フロアはガランとした感じを受けました。説明してくださったのは、新潟大学特任助教の白倉先生です。先生は、専門的な見地から「出向くケアと医療」の仕組みづくりを進めることを目的に開設された、新潟大学寄附講座「十日町いきいきエイジング講座」の担当教員もされています。



県立十日町病院を視察

会派通信

今号では、全会派の活動報告を掲載します。



礎 (いしづえ)



当会派は、視察後に行政当局と情報を共有し、先進地の事例等も参考に、提言を行っている。

①人口減少問題

若い世代を中心に移住者が増えている北海道東川町と長野県南箕輪村。その要因は、地域ブランドの確立による人気の高まり。子育て支援にいち早く取り組んだことが周辺地域で評判となり、口コミで広がっている。

コロナ禍による地方回帰への流れに乗り遅れることなく、当市ならではの魅力をさらに磨き、より効果的な情報発信に努めるよう求めている。

②ICTを活用した教育

国のGIGAスクール構想により、小中学校では1人1台のタブレット端末が年度内に導入される予定。重要なのはICTを日常の授業でどう生かせるのか。それを効果的に活用し、小規模校の課題解決に役立っているのが長野県喬木村。参考にすべき事例として教育委員会にも提言した。

③高齢者の移動手段

地方にこそ求められるスマートシティ化。特に公共交通の確保は重要な課題。可能性を探るため、自動運転技術研究に取り組んでいる埼玉工業大学を視察した。



タブレット端末を使った授業

自由の風



コロナ禍でなかなか視察研修ができず、11月に実施。東日本大震災、福島第一原発事故、あれから10年が経過した福島県を訪ねた。

帰還困難区域に指定された大熊町、双葉町、浪江町の道路はすべてバリケードで封鎖され、道路脇には放射能汚染土の山また山。車窓からであったが、胸が痛んだ。

川内村教育委員会を訪れ、村長、副村長、教育長の出迎えを受け感激した。川内村の小中義務教育学校について研究を深め、当市の学区再編という課題に、大変参考になる研修であった。

震災遺構として残した対照的な2つの小学校「福島県山元町旧中浜小学校」と「宮城県石巻市旧大川小学校」を視察した。災害時にかに情報を共有できたかということが、被害の大きさの差となつたのではないか。



川内村の小中義務教育学校を研究

だいち



市民感覚と市民目線が第一！

この4年間、議員個々の意志と行動を認め合い、会派拘束を行うことなく、ホンネで「教育と地場産業と環境エネルギーと医療」等、時事の重要課題に取り組んできました。特にこの2年間は、学区再編計画に対応し、学校づくりと地域づくりを一体とした先進地視察（長野市立鬼無里小中学校・小規模特認校や岩手県初の山村留学生を受け入れを実施している葛巻高校）を行い、地域と学校の存続を訴えてきました。エネルギー部門では、土湯温泉町の温泉熱を活用

したバイナリー発電所や福島第一原発事故により全村避難した飯館村民の飯館電力など、地方が主役となる地域社会づくり現場を視察。本気でやればできる！を実感。議員定数では、一貫して定数削減とともに今後の方向性も勘案し特別委員会設置を提案。議会・議員の存在感低下を直視した改革の必要性を訴えてきました。議員個々が、市民感覚と市民目線を第一にして、まずは議員の数を減らし議論と行動の質を高めれば、現在より格段に！市民の役に立つ議会・議員に変われます。



温泉熱を利用したバイナリー発電所



PCR検査拡充を要望

■ 8月22日

党市議団は市長に対し、新型コロナウイルスに関する第3次要望として検査の大規模拡充を求め、次の6項目を申し入れました。

- ①感染者に関わる住民、無症状者も含めた広い検査の実施②入院病床、施設や治療機器の整備拡充と財政支援③医療機関、福祉施設、教員、保育所職員等の定期検査④疑わしい人、希望者への受診拡充⑤市独自の検査費用支援⑥感染状況等の公表「学校統廃合を考えるつどい」を開催

■ 2月2日

和光大学山本由美教授



山本由美先生を招いた講演と意見交換のつどい

を招き開催した講演と意見交換会で情報館は超満席となりました。山本教授は、講演前に市内の小中学校を回り、市の計画を詳細に研究し、機械的統廃合、旧町村から中学校がなくなるのは全国的に珍しい、学識経験者のいない検討委員会は疑問など話されました。政府の公共施設等総合管理計画や自治体戦略2040構想等が背景にあるとの指摘もありました。参加者から、旧自治体に中学校がないのは論外、先生の話 forcefully 聞いた。人数での切り貼りで「なんじゃこりゃ」と思った。市の計画は全国でもひどい、自信を持って反対する等の声が寄せられました。



私たちが会派さくら（遠田延雄・大嶋由紀子・高橋俊一）の活動を紹介します。

多くの日本人が愛する「さくら」の花を会派名としました。市民の皆さまの思いに寄り添い、現場を拝見し、お話しを伺う活動を心がけ4年間活動をして参りました。お気軽に「ご相談」や、「聞いてほしいこと」等をご連絡いただけると幸いです。合併



子どもたちの要望に紹介議員として立ち会い
（「十日町タイムス」2020年11月18日、2面）

す。雪国でも安心して暮らせることが担保されなければなりません。厳しくチェック機能を果たして、皆さまのお声をしっかり届けて参ります。
①市民の力でよみがえらせた、大人気の桂公園こどもランドの活動とご苦労をお聞きしました。市内には、市に潤いを与える一翼を担うさまざまな活動がたくさんあります。活動の支援ができるよう、現場に伺いました。
②中学生の2人から、安心してスケートボードができる場所がほしいと要望をいただきました。勇気ある行動に報いるため、努めてまいります。



三矢会（村山達也、小林均、星名大輔、鈴木一郎）は、十日町市ろう者福祉協会の皆さまからろう者（聴覚障がい者）の現状について手話通訳を介してお伺いしました。

①各戸にラジオが配備されているが、ろう者は聞こえないので、映像（または文字）で知りたい②職員さんや店員さんからは、口元の動きが見えるように透明マスクをしてほしい。聞こえにくい人への配慮を表す『耳マーク』のお店も増えてほしい③トイレに入っている時に災害が起きると閉じ込められることが怖い。天井に異変を知らせるラ



手話通訳を介した打ち合わせ

ンプをつけてほしい④FAXや補聴器の支援はあるが、筆談グッズも必要だ。
総じてろう者は、情報の取得が遅れがち、コミュニケーション不足になりがちであることがわかりました。一人一人がろう者に対する理解を深め、手話でなく筆談でもよいから接していく姿勢が大事です。すぐに解決することは難しいですが、これからも引き続き意見交換をしながら市への要望活動をお手伝いし、ろう者の情報へのアクセスやコミュニケーションを支える地域社会を目指します。

議員自身が
テーマを決め、
市に対して直接質問
をします!



ココが聞きたい!一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。12月定例会では、14人が市民の生活に関わることにについて質問をしました。

テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく議員が自由に決め、「通告書」に書いて締切日までに提出します。

制限時間は50分

1人当たりの制限時間は、市からの答弁も含めて50分です。



クマ、イノシシから市民を守る。
高齢者の憩いの場を大切にしたい

村山達也 議員



質問 ① 徒歩通学の児童生徒をクマやイノシシから守る方策を伺う。② イノシシから田畑を守る電気柵への市の補助金は希望者が多い。予算確保方針を伺う。③ 電気柵は国の補助制度がとも手厚く有効に活用、周知する方策を伺う。

答弁 ① 通学路圏内で目撃情報が寄せられた場合、教育委員会等を通じて、また直接その小中学校に情報をお伝えし注意喚起を行っています。② 電気柵設置の支援要望が多いため、新年度予算の増額を図りたいと思います。③ 国の制度では、受益者戸数が3戸以上、費用対効果が見込まれるなどいくつか要件がありますが、ご希望がありましたら、農林課へご連絡いただきたいと思っています。また、要望する方に交付金が行き渡るよう事業のPRに努めます。

質問 ① 高齢者サロンなどで新型コロナウイルスの感染者が発生してしまった場合、責任をボランティア任せにしないでほしいが対応を伺う。② 生きがいデイサービスの休止期間があり、認知症やうつ病の進行を危惧している。対応を伺う。

答弁 ① 感染が発生した場合、基本的には保健所の指示の下に対応すること



地域サロンは高齢者の大切な憩いの場

になります。市の事業や委託事業であれば、そこに携わるボランティアの方に責任が及ぶことはありません。② 外出や運動の機会が少なくなったことで高齢者の心身への影響が心配されたため、DVDやカレンダー型のパンフレットを作成し、在宅でも運動や介護予防に取り組めるよう対策を実施しました。適度な運動や人との交流も非常に大事だと思っています。認知機能の低下やうつ病など、最初の気づきの糸口にもなり得る高齢者の憩いの場を、どのように継続していくのか、環境づくりについて引き続き考えていきます。

十日町市の教育と スケートボード問題について

大嶋由紀子 議員



質問 ①新しい教育大綱を、市民へ周知をしていただきたい。お考えをお聞かせください。②教育を移住の施策とするお考えを伺います。③第2次十日町市立小中学校学区適正化の今後の動きはどのようなになっているのかお伺いします。

答弁 ①教育大綱が策定されると、教育委員会において学校教育の重点や生涯学習推進基本計画などの個別計画が策定されます。新しい教育大綱や個別計画が保護者の皆さんや各種団体へ速やかに周知されるように努めます。②特色ある教育の取り組みを市内外に向けて積極的に発信することが肝要と考えています。移住者向けウェブサイトに教育情報を掲載するほか、U・I・ターン者の声や市の支援策をまとめた情報誌を全戸配布し、首都圏の移住拠点にも配置します。ほかの自治体の先進的な取り組みなどを参考にし、移住者の増につなげたいと思います。③未就学児の保護者の意見を確認するため、アンケートの実施や、児童生徒の保護者との懇談会等の実施を検討します。また、地域の求めに応じる形で説明の機会を設けることや、まだ説明会を行っていない一部地域には、早期に実施し

たいと考えています。

質問 近年、スケートボード人口が中学生、高校生を中心に増加しています。道路で行っている様子もあり、苦情の声も届いています。安心、安全にすることのできる場を検討いただきたいと思っています。お考えを伺います。

答弁 市では既に城ヶ丘ピュアランドの使用許可を出しており、そこを利用いただきたいと考えています。また、南魚沼市に有料のスケートボードパークがありますので、併せて利用いただきたいと考えています。



- ① 市内公共施設に…
② まつのやま学園6ページ載っています

川西診療所の外来機能の維持・ 新型コロナウイルスのワクチン接種

星名大輔 議員



質問 ①新型コロナウイルス感染症の流行が終息すれば、休日救急機能は現在行われている川西診療所から、医療福祉総合センターへ再び移転するものと思います。その結果、川西診療所が休日救急の機能を失っても、かかりつけ医としての機能はなくさないで維持していく考えですか。②新型コロナウイルス感染症のワクチンについてはどのような情報を聞いていますか。

答弁 ①川西診療所は、地域の「かかりつけ医」として、プライマリ・ケアを担う大変重要な医療機関です。これまで医師の確保などに努めてきましたが、このほど常勤医師の雇用については、内定をしました。川西診療所における外来機能については、今後も引き続き維持していきたいと考えています。②国は、令和3年の前半までに「全国民に提供できるワクチン数量の確保を目指す」としています。しかし、現時点では、ワクチンの特性や効果が確立しておらず、開発や生産に関して不確定な要素もあるとして、ワクチンの種類や接種開始時期は決定していません。また、新型コロナウイルスのワクチン接種に当たっては、国が対象者の優先順位を決めて、その経費を全額補

助する一方で、市が実施主体となり、接種を行うこととされています。接種体制については、今年度中に十日町市新型コロナウイルス等対策住民接種実施計画を策定することとしており、新型コロナウイルスのワクチン接種の際は、この計画を準用することとなっています。今後、国の動向を注視する中で、方向が示された際には、速やかに実施できるように、体制の整備を進めていきます。

※プライマリ・ケアに身近にあって、何でも相談に乗ってくれる総合的な医療



医療従事者等に感謝（PCR検査）

21世紀の郷里^{まち}創りについて

庭野 政義 議員



質問 河川改修も進み、川にはきれいな水が流れているが魚影はない。市街地の川に魚を取り戻せないか。

答弁 流雪溝の流末となる河川では、水生生物が生息しにくい区間もあると思いますが、それ以外の河川では、生息環境に配慮した整備がなされています。今後も生物がすみやすい整備を河川管理者の県に要望していきますし、市でもできることをしっかりと進めます。

質問 雪まつりのステージをやめた城ヶ丘ピュアランドに、何とかスケートボード場を設置できないか。

答弁 既にスケートボード利用団体には城ヶ丘ピュアランドの使用許可を出していますので、高校生も一緒にご利用いただきたいと思います。

質問 想定外、まさかの坂のための安心策として、晒川ダムの復活はどうか。

答弁 河川断面を大幅に広げた改修が完了し、上流域に砂防堰堤が建設され、ダム の代替となる治水対策は完了しています。利水対策では、流雪溝に必要な克雪用水を蓄えられる貯水施設の建設が昨年度から県によって着手されており、現在、市では、県の工事の進捗に合わせ、流雪溝整備事業を進めています。



晒川のいま (川原町)

ます。これらの代替対策により、ダム建設に代わる治水、利水機能は十二分に満たされているものと認識していますので、市として晒川ダムの建設等に関わる要望については考えていません。

質問 選ばれて住み継がれるまちづくりを掲げて3期12年、素晴らしい実績と成果が残った。市長の今後の去就は。

答弁 市長職は大変厳しい判断が求められる仕事です。任期は5カ月を切りましたが、もう少し時間をいただく中で、この3期12年を振り返り、成果と今後のあるべき姿を整理し、今後の十日町市に求められる市長像をじっくり考える中で判断したいと考えています。

環境政策について

太田 祐子 議員



質問 再生可能エネルギーや環境の取り組みを広く理解してもらうために新潟日報に掲載した「つかう、つくる、つながっていく」10年後の十日町市」は、素晴らしい内容で当市の環境政策の神髄を示している。それを踏まえて質問します。①広告掲載内容に照らし合わせた現状について②首相の「2050年までに国内の温室効果ガス排出ゼロ」発言を受け、国はCO2を出さないEV車購入補助金を最大2倍にする方針を出した。当市の現状と対策は。

答弁 ①地中熱の有効利用では、県内初となる地熱バイナリー発電所の稼働が実現しました。発電した電力を世田谷区に供給することで、新たな交流や発電余熱を活用した産業づくりなど、温泉地域における今後のさらなる活性化に期待しています。紙おむつの燃料化では、エコクリーンセンターの焼却熱で使用済み紙おむつを乾燥させる国内初の施設が完成し、エネルギーの地産地消と資源の循環利用の実証事業を進めます。再生可能エネルギー設備への補助は、近年、申請件数も大幅に増えてきており、制度拡充の検討を今後進めます。森林資源の燃料化について

は、キナールのバイオマス発電の事業化検討のほか、民間でも建設計画が進められており、森林資源の有効活用を期待しています。生ごみと廃菌床のガス化発電や農業用水活用の水力発電は、調査・検討を行ってきましたが、採算性に課題があり事業化には至っていません。信濃川における維持流量発電では、事業の実現に向け、引き続き課題解決に取り組めます。②急速充電器の利用状況から、50から60台が市内所有者と思われます。EV車の将来性や家庭でチャレンジしたい方の意向も踏まえ、新たに政策を変えていくタイミングではないかと認識しています。



コロナ禍での観光事業・結婚支援 事業・免許返納後の高齢者支援策

根津 年夫 議員



質問 コロナ禍における①当市のGOTOキャンペーンによる観光業と飲食業の現状と成果②当市来訪の観光客に対する感染拡大防止策と感染者発生時の対応③その他業種への支援策④今年開催の大地の芸術祭に向けた取り組みについて伺います。

答弁 ①国の事業につき利用状況等は公開されていませんが、施設などからは効果を実感しているという声を聞いています。11月後半以降、宿泊施設のキャンセルが開始しており、今後の状況を注視する必要があると考えています。②入浴施設では名簿記入などを行い、温泉組合などでは、ガイドラインの作成なども行われています。感染が疑われる場合、宿泊客から県の新型コロナ受診相談センターへ相談いただきます。③プレミアム付商品券の第2弾の発行を行います。④電子パスポートなどを検討しています。また、県内や隣接県など、近場への重点的な誘客活動を予定しています。

質問 当市の婚活、結婚支援事業の①現状と成果②支援策について伺います。
答弁 ①11月末現在、ハピ婚サポートセンターの会員数は87人、これまでのマッチング総数は413件、成婚は14



婚活マッチングシステム「ハートマッチにいがた」
ホームページから

件です。②出会いの場のイベント、結婚新生活支援事業などを実施しています。婚姻数や出生数の増加につながる取り組みを進めたいと思います。
質問 運転免許返納後の高齢者に対する①現状の支援策②支援事業としてシニアカーの購入助成制度の導入について伺います。
答弁 ①②シニアカー購入助成など高齢者の自主返納に対する支援策は、免許証をお持ちでない方との公平性に不均衡が生ずるため、今のところ考えていませんが、今後も高齢者の交通安全対策の強化と併せて対応を検討します。

学区再編は行政の一方的方針ではなく地域との合意が前提

安保 寿隆 議員



質問 教育委員会の方針は、小学校1学級、中学校2学級以上でなければ地域の提案を受けられないというものであり、到底納得できない。①文科省の「手引き」では、「小規模校を存続させる場合の教育の充実」という項があるが、教育委員会の方針には欠落している。これからでも自治組織等に配布し、改めて協議すべきではないか。②市長に聞きたい。市の方針は変えないというかたくなな姿勢ではなく、方針を脇に置いて、地域の皆さんとよく相談をする、一緒にやって地域活性化も合わせて検討すべきではないか。

ば、家庭教師をつけた方が学力は上がるかもしれませんが。ただ、学校で学ぶことは学力だけではありません。そうした中での令和の時代の学校の在り方、10年先まで見据えた中での今回の決定です。教育委員会の中でしっかりと議論を重ね、今回そのことを市民に問うたという観点で敬意を表し、市民にしっかりと理解していただいた上で議論を進めていただきたいと期待しています。

答弁 ①そのような資料は配っていませんが、学区適正化方針の中では、その旨のことも記述しているところです。地域の皆さんに説明させていただく中で方針を定め、このたび総括をさせていただいたわけですね。これをぜひ自治組織の皆さんもご覧いただき、もし改めて説明を聞きたいということであれば、私どもはしっかりと説明させていただきます。②今回の総括に対する決定は、学校規模をある程度確保した中で子どもたちを育てたいという観点で一致していたものだと思います。学力のことを考えれば、

「小学校複式学級による学力スコアへの影響」より
国立教育政策研究所・資料

- 全国の複式学級数（令和2年度）
・ 小学校 4,382学級 ・ 中学校 162学級
- 小学校6学年の平均正答率

	国語	算数		国語	算数
複式学級	67.0	68.0	5学級	66.4	69.1
1学級	64.2	65.7	6学級	65.3	67.8
2学級	63.0	65.8	7学級	60.7	64.5
3学級	63.6	66.8	8学級以上	63.1	67.6
4学級	65.1	67.8			

※文科省「平成31年度全国学力・学習状況調査」
複式学級の正答率は、国語1位、算数2位となっている。
安保寿隆議員作成

移住定住、大地の芸術祭、ICT教育について

富井 高志 議員



質問 移住・定住については、コロナ禍による地方回帰への流れがある中、今後の情報発信をどう考えるか。

答弁 4月からホームページのLINE連携が可能となり、さまざまな情報を能動的に発信することができるようになります。現在運用しているUターン情報サイトとの連携強化を図りながら、移住、定住支援などの取り組みを積極的に発信していきます。特色ある教育の充実、子育て世代が移住先を検討する上で重要な要素となり得ます。今後、特色ある教育を移住検討者に分かりやすく届くよう取り組みを進めます。

質問 新型コロナは、収束が見通せない状況にあるが、次の大地の芸術祭第8回展をどう考えているか。

答弁 限られた条件で最大の効果を発揮できれば、次回展以降の持続可能性を見いだせると考え、その契機とする芸術祭にしたいという思いで取り組んでいます。キャッシュレス決済の導入や電子パスポートなど、ICTによる感染症対策の実現を目指します。集客については、国内を対象に広報を充実させ、市民や県内、隣接県の皆さんから近場の魅力を再発見してもらうための

GIGAスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

文部科学省「GIGAスクール構想の実現」から抜粋

プロモーションを重点的に進めます。万が一、国内の移動が制限された場合でも、動画配信などオンラインで越後妻有を感じ取れる仕掛けをつくり出します。

質問 小中学校の教科指導等においてICT機器の活用をどう考えているか。

答弁 全ての児童生徒にタブレット端末が配備されることにより、教科指導での活用場面はこれまで以上に広がることを期待されます。教員が自ら活用場面や方法を考え、実践を積み重ねていくことが大切と考えています。教員が意欲的にICT機器を活用した教育実践に取り組めるよう、支援をしています。

当市の空家対策について さらなる自殺対策推進について

高橋 俊一 議員



質問 十日町市空家等対策計画で公表された当市の実態調査による空家数は、推定より3分の1ほど減った810戸、そのうち191戸が管理不全となっている。①今後その管理はどうするのか。②空き家バンクの現状は。③特定空家と行政代執行等への対応は。

答弁 ①空家等対策計画に沿って具体的な取り組みを展開し、所有者、関係者に対して適切な管理についての意識啓発を積極的に行います。調査で判明した管理不全な空家を中心に、定期的な現地確認を継続し、状況の把握に努めます。②コロナ禍の影響もあり、空家物件の購入等の問い合わせは増えています。制度創設からの成約実績は46件で、移住者の皆さんなどから有効に活用いただいています。③やむを得ない状況によっては、代執行または緊急安全措置を検討し、実施することもあります。このような事態を極力回避するため、定期的な空家の実態調査を継続して数や状況等を正確に把握し、その所有者、関係者をあらゆる方法で特定して法的及び道義的な責任を追及します。代執行の費用回収では、所有者の財産の差し押さえや、市が請求人となって相続財産管理人や不在者財産管理

人の選任制度を活用するなど、公的負担の軽減を図りたいと考えています。

質問 10月の全国的な自殺者数の急増は、コロナ禍によるとも言われる。①当市での現状はどうか。②男女差と年代別での変化はあるか。

答弁 ①自殺の原因は、現在、警察庁等で調査中であり、新型コロナウイルスの影響がどの程度あるのかは確認できませんが、生活困窮者の相談が増加していることから、警戒しています。②例年であれば男性の割合が高い傾向ですが、現時点では女性の割合が高く、半数が65歳以上の高齢者です。



H29年に行政代執行された松之山地域の空家

松代地域の持続的振興には 中学校の存続は絶対的な条件

小野嶋哲雄 議員



質問 地域の振興と子どもたちの教育は車の両輪です。今回、教育委員会から出された松代中学校の南中学校への統合案は、中央部への一極集中であり容認することはできません。いかなる国県の指導があるうとも、資源の乏しい旧町村部において頑張ってきた人への気配りが感じられません。全国には先進事例として、山村留学や公営学習塾等の取り組みで移住・定住を呼び込み、生徒の増と地域振興を図る成功事例もあり、事例に学び可能性の追求と提案を求めます。

答弁 第2次学区適正化方針は、少子化が進む中で純粋に子どもたちのよりよい教育環境をどうするか、その整備を第一義にという問題意識でスタートしたと認識しています。このたびの学区適正化方針の説明会等の総括においては、小学校では1学年1学級、中学校では1学年2学級の基本方針にかなう、地域からの合意が見込まれる提案については、教育委員会でもしっかりと検討するという柔軟性もあるように書かれています。今回の総括は、教育委員会において全会一致で議決されたものですが、これは今回の総括で出した柔軟な対応の方向性と、それを受けた



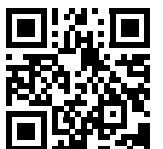
松代中の生徒が「農耕歴史行列」で盛り上げる「松代観音祭」

地域と教育委員会との建設的な意見交換を期待してのことであると認識しています。津南中等教育学校に進学される方もいますし、いろいろな考えがそれぞれの家庭であると思います。それぞれの地域でしっかりと受け止めて、これを機に学校統合をどのようにするかという議論を深めていただき、建設的な提案があれば教育委員会に出していただきたいと思います。

なお、地域振興については、現在策定中の第二次総合計画後期基本計画の中で、各地域自治組織に意見をいただきながら検討を進めています。

多様な農家を支え基幹産業にふさわしい農業基盤の強化を!

鈴木和雄 議員



質問 農地の大半を担う認定農業者への営農アンケートでは、農産物価格の不安定や農機具の高騰等の声がある。担い手が経営に困難を来すようでは役割を果たせない。どう対応したのか。

答弁 園芸作物の導入により、農産所得の向上や産地化を目指す取り組みを行っています。米だけに依存せず、園芸作物との複合営農を推進することが必要ことから、カボチャとネギの販売額1億円増を目指す取り組みを始めています。機械の更新では、市の事業で、中古も対象とする補助事業を組み立て、既に一昨年から始めています。

質問 多様な担い手や経営体を育てなければ地域農業は守れない。地域の特性を生かした農業の姿が望まれるが。

答弁 平場と中山間地では全く違うと思っています。全ての土地の状況を見直し、農地の9割を集積しようと言っているわけではありません。そのところは議員と同じ考え方でし、今回の国の大きな計画と同じ考え方で進めています。

質問 農業基盤は右肩下がりが現実。本腰を入れた検証と受益者任せではない基盤づくりに向けた決意が必要

答弁 国や県の支援制度を最大限に活

●認定農業者数（経営体）

	H17	H22	H27	R元
十日町地域	96	101	203	234
川西地域	34	47	70	75
中里地域	68	73	98	95
松代地域	32	28	37	46
松之山地域	53	43	55	54
計	283	292	463	504

●認定農業者への集積面積（ヘクタール）

	H17	H22	H27	R元	R元集積率
十日町地域	521	764	1,158	1,189	34.9%
川西地域	431	708	853	959	71.0%
中里地域	361	419	510	536	40.6%
松代地域	72	100	90	105	14.4%
松之山地域	152	199	235	218	28.5%
計	1,537	2,190	2,846	3,007	39.7%

鈴木和雄議員作成

用し、この15年間で総事業費約139億円を投資し、222ヘクタールのほ場の面的整備や受益面積約600ヘクタールのパイプライン工事を行いました。さらに、地域農業の維持、存続のために、水路トンネル、ため池の改修にも取り組んでいます。これにより生産条件は確実に向上し、農作業の効率化と担い手への集積が進んだと考えています。今後は、平場地域における畑作など、複合営農を展開できる汎用水田の整備や山間地における慢性的な水源不足について、地元の皆さまと共に対策を進めていきます。

コロナ禍の中での雪対策について

滝沢 繁 議員

**質問** コロナが猛威を振るう中で、症状があればPCR検査を行政検査で受けることができる。①これからいつでもどこでも何回でも受けられる対策が必要では。②市販の検査キットも安価な品も出回っている。市が安心して使えるものを医療機関などに提供するなどできないか。③個人で検査して陽性だったら医療機関へ、というのとはどうか。**質問** 融雪屋根助成は、地域ごとに降雪量に応じた対策が必要ではないか。

答弁 地域の降雪量等の実情を考慮してほしいという民生委員の意見を参考にして、現在、制度の見直しを検討しているところです。民生委員の判断で柔軟に、というのは非常に重要なことだと思っています。真に助けが必要な方に支援が届くように、そして本当にどこまで必要なのかということも非常に重要な点です。どれだけ手厚く、どういう方に、ということをしつかりと検討するように指示を出していますので、ご理解いただければと思います。

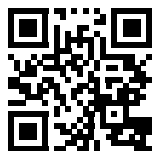
答弁 ①現在発症例に応じて、検査対象も幅広く行うような体制が、保健所では取られています。検体採取も一つの医療行為に当たり、医療従事者等の介在が何らかの形で必要になります。医師会や保健所、新潟大学寄附講座の先生方の意見を伺いながら、社会的な影響を考慮した上で、今後その時々に応じた検討をしていかなければならないと思います。②専門知識のない我々だけでは制度を組み立てられませんので、医師会等の先生方の意見を踏まえ、今後、検討の際には対応していきたいと思っています。③市販の検査キットは唾液検査が多く、個人で行われた場合、正確性に欠けるところがあります。医師や医療従事者の管理下で行われることが確実だと思います。



要援護世帯除排雪事業の拡充を望む

市民の生命と財産と健康を守るための根本政策を実現願います

樋口利明 議員

**質問** ①原発事故は必ず起こります。市民の生命と財産を守る市長・責任者として、柏崎刈羽原発の再稼働について、市民に情報提供し、まずは早急に最新の市民の意識(賛成・反対・その他)を問い、公表して内外に議論を喚起したい。②地域の存続をかけた振興策と学校の存続を一体的に捉え、今後の自治組織への本格支援策、例えば、法人化に対する人材登用と予算付けを提案します。③市民の健康の根本たる自然と歩行を本格事業化願いたい。

答弁 ①知事は、再稼働に伴う地元同意に関して、柏崎市と刈羽村以外の自治体については、その意見を踏まえて県が代表して判断することが適切であるとし、進行中の検証作業が終われば、県民に説明する段階が必要であると述べています。今後のスケジュールの中で、民意を把握して知事からの意見照会に答えることは、次期市政を担う市長の最も重要な仕事のひとつと考えています。②公民館のコミュニティセンター化の検討を始めており、地域自治組織の意向を尊重した上で検討するとともに、官民協働のまちづくりを進めます。また、コミュニティスクールでは、学校と地域が一緒になって、子どもたちを育てる体制の構築を推進しており、これも活用しながら、地域全体での地域振興の取り組みを進めます。③市内には、県認定の健康ウォーキングロードが4カ所あり、公民館活動などの中で、季節に応じたイベントを開催し、多くの市民が参加して健康づくりに取り組んでいると伺っています。そして、高齢者の健康づくりとして見た場合に、自然の中での農作業が健康維持に効果がある、との研究結果が発表されています。こうした自然環境を生かした運動推進を含め、健康増進を図る取り組みを充実したいと思っています。

～十日町市地域自治推進条例から抜粋～

第1条 この条例は、地域の身近な課題を地域の住民等の自らの判断と責任の下で、自主的かつ自立的に解決に努める地域自治組織の活動に関する事項を定めることにより、市と当該組織との間の基本的関係を明らかにするとともに、当該組織の民主的かつ効率的な活動の確保を図り、もって地域自治を推進し、多様な主体が社会を支える協働のまちづくりの実現に資することを目的とする。

総合計画・学区適正化・公民館、社会教育活動を問う

藤巻 誠 議員



質問 第二次総合計画・学区適正化方針に係る諸課題について①菅総理大臣が最優先課題は地方創生と述べていたが、このチャンスはどう生かすか。②義務教育学校の位置付けとこれまでの審議経過について③社会教育・公民館活動の今後の在り方について④第2次学区適正化に地域の声を反映してどう進めるのか。

ていない一部地域には、早期に実施したいと考えています。

質問 新型コロナウイルス対策について①これまでの執行状況と今後の対策について②市指定管理団体の状況と今後の支援策について

質問 新型コロナウイルス対策について①これまでの執行状況と今後の対策について②市指定管理団体の状況と今後の支援策について

答弁 ①策定中の第二次総合計画後期基本計画の中で、施策の方針に沿いながら取り組む所存です。②平成27年度当時、松之山小・中学校の改築を検討する必要があり、併設型小中一貫校と義務教育学校の両論を総合計画前期基本計画に記載しました。教職員の人的優位性から併設型小中一貫校となり義務教育学校の議論は終結しました。将来十分な教員配置ができるようであれば、その時点で義務教育学校は考えるべき課題になると感じています。③社会教育・公民館活動のあり方検討委員会により提出された提言の内容を實現できるように、関係者に対し丁寧に説明したいと考えています。④未就学児の保護者アンケートや児童生徒の保護者との懇談会等を検討し、地域の要望により説明するとともに、説明会をし

答弁 ①今議会までの予算総額は約16億9600万円です。国や県と連動し、独自の対策を講じる必要があると考えています。②4、5月分の利用料等は計画の約3割、8月からの利用再開により7から8割まで回復と報告を受けています。施設の収益状況を見極め、支援策を提案したいと考えています。



会派で視察した建設中の川内村義務教育学校（福島県）

10月臨時会 議決結果

議案番号等	件 名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出案	122 令和2年度十日町市一般会計補正予算（第8号）	—	全員賛成	原案可決
	123 令和2年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決

11月臨時会 議決結果

議案番号等	件 名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出議案	124 十日町市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定	—	全員賛成	原案可決
	125 十日町市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	—	全員賛成	原案可決
	126 十日町市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	—	全員賛成	原案可決
	127 十日町市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定	—	賛成多数	原案可決

12月定例会 議決結果

議案番号等	件 名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出議案	128 人権擁護委員候補者の推薦（南雲カツミ氏）	—	全員賛成	同意
	129 損害賠償の額を定めること	—	全員賛成	原案可決
	130 字の変更（県営中山間地域総合整備事業 六箇地区〈田麦（立ヶ坂）換地区〉）	—	全員賛成	原案可決
	131 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定	—	全員賛成	原案可決
	132 十日町市清掃施設条例の一部を改正する条例制定	—	全員賛成	原案可決
	133 十日町市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定	—	全員賛成	原案可決
	134 指定管理者の指定（十日町市総合体育館ほか8施設）	総務文教	全員賛成	原案可決

議案番号等		件名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出議案	135	指定管理者の指定（十日町市当間多目的グラウンドクラブハウス及び十日町市当間多目的グラウンド）	総務文教	全員賛成	原案可決
	136	十日町市農村集落多目的利用広場及び農村公園条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	137	十日町市西戸屋公園施設条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	138	十日町市清津峡渓谷歩道トンネル条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	139	十日町市越後妻有大蔵寺高原観光施設条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	140	指定管理者の指定（十日町市職業訓練施設）	産業建設	全員賛成	原案可決
	141	指定管理者の指定（仙田体験交流館）	産業建設	全員賛成	原案可決
	142	指定管理者の指定（十日町市農産物加工直食施設）	産業建設	全員賛成	原案可決
	143	指定管理者の指定（越後妻有交流館キナーレ）	産業建設	全員賛成	原案可決
	144	指定管理者の指定（まつだい雪国農耕文化村センター等及び十日町市まつだい郷土資料館）	産業建設	全員賛成	原案可決
	145	指定管理者の指定（越後妻有大蔵寺高原キャンプ場、希望館及びばーどがーでん）	産業建設	全員賛成	原案可決
	146	指定管理者の指定（松之山温泉スキー場）	産業建設	全員賛成	原案可決
	147	指定管理者の指定（鷹の湯）	産業建設	全員賛成	原案可決
	148	指定管理者の指定（十日町市オーストラリア・ハウス）	産業建設	全員賛成	原案可決
	149	市道の変更（新座西14号線）	産業建設	全員賛成	原案可決
	150	十日町市地域集会施設等条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	151	津南地域衛生施設組合の共同処理する事務の変更及び津南地域衛生施設組合規約の変更	産業建設	全員賛成	原案可決
	152	指定管理者の指定（十日町市斎場）	産業建設	全員賛成	原案可決
	153	十日町市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	154	十日町市簡易水道及び小規模水道給水条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	155	十日町市上水道給水条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	156	十日町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	157	指定管理者の指定（羽根川荘）	厚生	全員賛成	原案可決
	158	指定管理者の指定（平成園）	厚生	全員賛成	原案可決
	159	指定管理者の指定（松代ゆうあいセンター）	厚生	全員賛成	原案可決
	160	指定管理者の指定（十日町市松代デイサービスセンターほのぼの園及び十日町市松代デイサービスセンターつるかめ園）	厚生	全員賛成	原案可決
	161	指定管理者の指定（ゆうゆう荘）	厚生	全員賛成	原案可決
	162	令和２年度十日町市一般会計補正予算（第９号）	—	全員賛成	原案可決
	163	令和２年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	—	全員賛成	原案可決
	164	令和２年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第３号）	—	全員賛成	原案可決
	165	令和２年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第３号）	—	全員賛成	原案可決
	166	令和２年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第３号）	—	全員賛成	原案可決
	167	令和２年度十日町市水道事業会計補正予算（第４号）	—	全員賛成	原案可決
	168	令和２年度十日町市簡易水道事業会計補正予算（第４号）	—	全員賛成	原案可決
	169	令和２年度十日町市下水道事業会計補正予算（第３号）	—	全員賛成	原案可決
	170	令和２年度十日町市一般会計補正予算（第10号）	—	全員賛成	原案可決
請願	2	高齢基礎年金等の抜本的な改善を求める請願	厚生	賛成少数	不採択
議会提出議案	9	十日町市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定	—	賛成少数	否決
	10	北朝鮮による拉致問題の早期解決を求める意見書	—	全員賛成	原案可決
	11	議員派遣	—	全員賛成	原案可決

賛否等の状況 賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。（○：賛成、×：反対、－：欠席）
※鈴木一郎議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号等	議決結果	賛成	反対	いしづか 礎					自由の風					だ い ち				日本共産党 十日町市議団			さ く ら			さん し かい 三 矢 会			議長
				小林弘樹	福岡哲也	富井高志	宮沢幸子	水落静子	藤巻誠	山口康司	根津年夫	庭野政義	吉村重敏	樋口利明	小林正夫	小野嶋哲雄	太田祐子	安保寿隆	鈴木和雄	滝沢繁	遠田延雄	高橋俊一	大嶋由紀子	村山達也	小林均	星名大輔	
127	原案可決	22	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
請2	不採択	7	16	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	※
議9	否決	6	17	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※



● 議会をPick-Up!

審議の結果は、12ページ下段から13ページに掲載

10月臨時会

令和2年第1回臨時会
会期 10月28日（1日間）

可決した議案

● 一般会計補正予算（第8号） （主な事業および内容）

- 高齢者等PCR検査事業
高齢者福祉施設に新たに入所する人がPCR検査を希望する場合に、検査費用を助成します。
- PCR検査医療従事者感染防止対策助成事業
PCR検査が実施できる市内の医療機関に、感染防止対策に必要な経費を助成します。
- 農産物販路拡大支援事業
農産物等の販路拡大や需要喚起を図るため、通販サイトに農産物等を登録する費用や、必要な広告宣伝費の一部を支援します。

- 国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）
「地域外来・検査センター」を開設するために必要な経費を増額します。

11月臨時会

令和2年第2回臨時会
会期 11月30日（1日間）

可決した主な議案

- 十日町市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
人事院勧告に基づいた国家公務員一般職の給与改定に準じて行われる国家公務員特別職の給与改定に伴い、市長や一般職員と同様に議員の期末手当を0.05月分引き下げます。

12月定例会

令和2年第4回定例会
会期 12月4～14日（11日間）

可決した主な議案

- 一般会計補正予算（第9号）
（主な事業および内容）
○個人番号カード交付事業
カード交付業務を民間委託し、受付端末を増設します。
- 県単農業農村整備事業
留山ダム（松之山）取水ゲート

表紙写真について

今月号の表紙は松代高校写真部の作品です。

松代高校写真部



3年生2人と1年生6人で活動しています。新型コロナのために撮影会などはほとんど開けませんでした。学校周辺や各自の家の周りで心動かされる風景や静物を中心に撮影してきました。今後もふるさとの残したい景色を写真に収めていきたいと思っています。

- ト油圧菅の修繕を行います。
- 中学校施設整備事業
南中学校および水沢中学校のトイレを改修します。
- 学校給食費公会計化事業
学校給食費の公会計化に向けた簡易納付書システムを導入します。

可決した議案

- 内閣総理大臣をはじめ国の関係機関や国会に提出し、その実現を図るよう要望します。
- 北朝鮮による拉致問題の早期解決を求める意見書

議員定数削減案を否決

- 議員定数を24人から22人に削減する「十日町市議会議員定数条例」の改正案が、議員発議で提出されました。
- 起立採決の結果、賛成少数で否決されました。

あとがき

あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、今冬の大雪では屋根雪処理等に伴う事故、倒木による停電、道路封鎖が生じたこととお見舞い申し上げます。さらには、新型コロナウイルス感染症拡大予防による「静かな年末年始」を送るために、自粛のご協力、ご理解をいただいたことに感謝申し上げます。ご家族、ご自身の感染防止対策は、命を守るとても大切なことです。雪害もコロナ禍の問題も災害です。助け合い、思いやりの心を持ち、ご自愛ください。

さらに災害に強いまちづくりのため、十日町市議会としても努めてまいります。

（水落静子）

発行：新潟県十日町市議会
編集：議会だより編集委員会
〒948-8501
十日町市千歳町3丁目3番地
TEL 025-757-3119
FAX 025-757-5999
E-mail: t-gikai@city.tokamachi.lg.jp